



向上無限

校訓 生徒一人ひとりの可能性は無限大!



学校便り
校長 仲盛康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

第48回卒業式

第48回卒業式 卒業生代表挨拶

やわらかな陽射しが大地を包み込み、春風香る三月。私たち48期生は今日をもってここ、城北中学校を卒業します。

思い返せば、本当にあっという間の3年間でした。真新しい制服に身を包み、初めて廊下を歩いた入学式。あの日見た景色は、今でも私の記憶の中に印象的に焼き付いています。背丈に合わず裾余りした制服。胸元を飾る色鮮やかなリボン。みんなの期待や不安が入り混じったような、そんな教室の空気感。私達の目には全てが新鮮に写り込んでいました。

入学して初めての移動教室。理科室の場所がわからず授業に遅刻するまいとみんなで廊下を必死に走ったのを今でも覚えています。そんな中、先輩方が企画してくださった新入生歓迎球技大会や城熱博、遠足の大会に参加するうちに私達は少しずつクラスや学年の団結力を強めていきました。そしてむかえた合唱コンクール。夏から長期間準備を重ねてきた私達にとってとても思い入れのある行事でした。練習を通して何度かもめたり、ぎくしゃくする事もありましたが本番では、それぞれのクラスがベストを尽くし、より良い発表をすることができたと思います。大事な事は互いにリスペクトしあう事。互いのベストをほめたたえる事。尊重する事。行事を通してそう学びました。そしてこの経験は私達を更なる成長へと導いてくれました。初めての中学校生活、初めての生徒会行事、初めての生徒会活動、初めての部活動。私達はそんなたくさんの「初めて」を経験し順風満帆な日々を過ごしていました。

そんなさなかの2020年上半旬、県内で新型コロナウイルスの感染が拡大し直ちに臨時休校が始まりました。新学期に初めて後輩を迎え今度は自分たちの世代が学校を盛り上げていこうと意気込んでいた私達にとって、この出来事はとても大きな衝撃でした。予定していた行事は延期続き。いつ休校が明けるか分からず先が見えない日々毎日不安を抱いていました。やっとの事で長い休校が明け、新学期が始まりましたが以前とは全く違う状況。以前はグループを作ってにぎやかに食べていた給食も一人での黙食となりマスクの着用も義務化され、以前の当たり前が今では当たり前でなく

なったことを改めて実感しました。しかしどんなに苦しい状況であっても天を恨まず状況に甘えず例年通り、例年以上に学校を盛り上げる意志が私達にはありました。限られた時間で多くの事をこなすのは本当に大変でしたがみんなでアイデアを出し合って創意工夫し、スポレクやJONETUBEなど新たな生徒会行事を成功させたさいには身に余るほどの達成感を覚えました。

そしてむかえた3年の始業式。ついに先輩方から引き継いだ最高学年の席に身を置き、私達は大きな責任感や使命感を感じていました。まだまだ感染状況も悪く予定通りに行事を運営できるかわからない状況でしたが私達は「コロナでなにも出来なかった可哀想な世代」ではなく「それを乗り越えた強い世代」になる事を誓いました。まだ誰も経験したことのないコロナ渦での城熱祭。全員が未経験者で、「枠組み」という物ができていなかったからこそ自分たちらしい城熱祭を一から作り上げようと団長達を中心に念入りに準備を進め、1人1人の個性が生きた城熱祭を作りあげることができました。

コロナと共に歩んだ3年間。コロナ渦は私達の生活を揺り動かし時に不安をもたらしました。しかし、その分私達に大きな結束力をもたらした新たな事に挑戦する糧となりました。今ではこの状況に感謝さえしています。そして、コロナ渦での多くのチャレンジを心から応援して下さった先生方、今まで本当にありがとうございました

48代生徒会長 宮城ルース





向上無限

校訓 生徒一人ひとりの可能性は無限大!



学校便り
校長 仲盛康治
『心一つに』
『誰かの笑顔のために』
『明日が待ち遠しい学舎』

令和3年度修了式

3月25日、令和3年度の修了式がありました。今年度もコロナ禍の影響を受けましたが、城北中の生徒や保護者、教職員、地域の方々の持ち前の粘り強さと明るさで無事乗り越えることができました。

本校は2024年に創立50年を迎えます。現2年生が49期生、現1年生が50期生、新入生は51期生となります。この節目を大切に、益々の学校の発展を目指し、頑張っていきたいと思います。

各学年の決意表明です。

「1学年を終えて」(抜粋)

1年 呉屋和優

1年を振り返ってみると、中学校は小学校と違うところが数多く驚きました。新しくなった制服、教科担任制、テストも中間、期末とあり、範囲も広がったので対策が大変でした。目まぐるしい毎日だったが、特に思い出に残っているのは「城熱祭」と「合唱コンクール」です。生徒が中心となり、一つのことをつくり上げる事の楽しさや難しさを感じ、「とても良い経験ができました。」

僕たちの学年は、仲が良くとても思いやりがあり、困っていると互いに助け合えるのでとても良い学年だと思います。しかし課題もあります。それは時間のけじめです。2年生になったら全員が時間に対する意識を高く持ち、ベル席前着席を学年全員でクリアしたいです。

僕は今、進級前に向けて思うところがあります。僕たち1年生が楽しい学校生活を送れているのは先輩方にいろんな面でリードしてもらったからだと思っています。コロナが落ち着いてまたいろいろな行事ができるようになったら、僕たちも先輩方がしてくれたように後輩をリードしていきたいです。

50期生の皆さん、4月から心をつなげて団結し、「城北生みんなの笑顔のためにそして一人一人が楽しいと思えるような学校にするために共に頑張っていきたいと思います。」



「2年生を振り返って」(抜粋)

2年 山城妃乃

今年度を振り返ると、私たち2年生は団結力が高まった1年だったと思います。全校生徒で「ダイナマイト」を踊った城熱祭。初めての取り組みで緊張や恥ずかしさで声が出なかつたりしたけど、クラスの個性が詰まった合唱ができた合唱コンクール。後輩ができ、自分たちが頑張らなければと自覚した部活動では、各部の頑張りが実績につながっています。どんな活動も感染予防を第一に工夫を凝らしての取り組みとなりました。そして教室で友人と過ごせることや行事ができる事への「感謝の気持ち」を持つことができました。

そのなかでも渡嘉敷島での修学旅行は、一番の思い出です。慶良間ブルーの輝く海での体験活動、火起こしと煙に泣かされた野外炊飯、強風に負けず、キャンプファイヤーを囲んで深めた絆。何気ないひとときがびっくりするくらい大切な思い出となっています。正直、九州の修学旅行に行きたかったという思いもありますが唯一無二の城熱ツアーだからこそ、活動できる喜びや協力する大切さを実感でき、団結力を高めることができたと思います。

しかし、私たちには課題もあります。時間のけじめや状況判断の甘さです。8:10登校、2分前着席など切り替えの遅さを指摘されることもありました。全体を見て動くべきところで、自分勝手な行動をしてしまうケースもありました。そのために私たちができることは、リーダーを中心に声を掛け合うことだと思います。

さらに大事なことは、声かけに周りが行動して応え合うことで集団としての目的を持って行動できるようになり、3年生らしく充実した学校生活を送ることができると思います。3年生では受験を迎えます。2年の課題を意識して改善することができれば私たちは、お互いを高め合うことができる3年生となりそれぞれの進路を見つけ互いに応援できる存在になれると思います。

1年間私たちを指導していただいた先生方ありがとうございました。2年生の皆さん、楽しい毎日ありがとうございました!4月からは、私たちが城北中の大黒柱です。頑張るぞー オー!

